

第42回 全日本バレーボール小学生大会

# 危機管理マニュアル

チーム配付用

現時点での情報をもとに作成したマニュアルですが、その時の社会情勢によって記載内容が、変更されることもあります。



第42回 全日本バレーボール小学生大会 実行委員会

この「危機管理マニュアル」は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を含めて、大会に参加する全ての方々の命を守ることを主眼として作成したマニュアルです。

ご不便をおかけすることも多々ありますが、作成の趣旨をご理解いただき、危機管理にご協力をお願い致します。

## 【1】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止

### 1 感染拡大防止のための基本事項

#### ① 健康チェックシートの提出

大会終了後、大会本部で保管します。

大会期間中、毎日、大会会場の受付時にて別紙「健康チェックシート」を提出してください。なお「健康チェックシート」は、日本小学生バレーボール連盟のホームページより、各チームでダウンロードして、大会当日ご持参ください。提出は、大会期間中毎日です。

大会開催時における開催都県の感染状況により、体育館を管理している自治体の指示で、健康チェックシート提出の他に、入館時の検温を課す会場もあります。

#### ② マスクの持参および着用

参加受付時や着替え時、会話をする際など、コート上で競技をしていない時は必ずマスクを着用してください。

#### ③ 手洗いおよび手指消毒の徹底

こまめな手洗い、手指消毒の実施をお願いいたします。

#### ④ ソーシャル・ディスタンスの確保

なるべく2m以上の確保をお願いいたします。

※障がい者の誘導や介助を行う場合を除きます。

## ⑤ 大きな声での会話の禁止

大きな声での会話をしないようにしましょう。

## ⑥ 大会本部等の指示・決定への遵守

感染症拡大防止の観点から、試合終了後会場内に滞留することができません。試合終了後は速やかに退場すること。また、競技役員より退場を促された場合には必ず従って下さい。

## ⑦ 大会中の対応

大会中に、以下の事態が発生した場合は速やかに下記に連絡してください。

場面	ケース	連絡先
チーム受付～大会会場を離れる	■選手およびチーム関係者が発熱した場合	大会本部
移動中 宿泊中	■選手およびチーム関係者が発熱した場合 ■選手およびチーム関係者が医療機関を受診した場合 ■選手およびチーム関係者が医療機関から「新型コロナウイルス感染症陽性」と診断された場合	全国大会実行委員会 危機管理委員会委員長 阿部 誠  090-5005-9800

## ⑧ 大会後の対応

大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに下記に連絡してください。

連絡先 全国大会実行委員会

TEL 03-5738-5391

Email: office@jeva-web.com

## 2 会場使用について

### ① 会場内での飲食

- ◆ 会場内で食事をする場合は各チームの控え場所で済ませてください。食事中は会話を控え、向かいあつての食事ではなく、同じ方向を向いた黙食です。

※ 会場によって食事制限があります。

- ◆ 食事終了後は必ず、その付近を消毒してください。
- ◆ お弁当の空箱は受け取った場所の担当者(業者)に返却してください。その他のごみは必ず持ち帰るようにしてください。

## ② 会場内での体調不良

会場内で体調が悪くなった場合、速やかに近くの大大会役員に報告し、指示に従ってください。

## ③ 使用した観客席の消毒

チームで使用した観客席を、各チームで消毒してお帰りください。

※消毒に使用するグッズは、各チームでご用意ください。

消毒グッズは、ウェットティッシュタイプ、スプレータイプ等、チームに一任いたします。

大会開催時における開催都県の感染状況により

- ・食事の制限
- ・使用可能場所の制限 等

が、大会会場によって異なります。この「危機管理マニュアル」のみならず、「会場使用上の注意」も厳守くださるようお願い申し上げます。

## 3 競技について

### ① 競技エリアへの移動

フロアに移動する場合も全員マスク着用です。移動に際しては大会役員の指示に従い行動してください。試合終了後も、マスクを着用して大会役員の指示に従い行動してください。

### ② チーム練習球等の取扱

各チームで会場に持ち込む用具(練習球など)は使用前後で必ず消毒を行ってください。 ※消毒に使用するグッズは、各チームでご用意ください。

### ③ マスクの着用

コート上の選手	熱中症予防のために、マスクは外します。
控えの選手	熱中症予防のために、マスクは外します。
監督・コーチ・マネージャー	マスクは着用してください。

※保護者からの要望があった場合にはこの限りではありません。

### ④ タオルやドリンクの取扱

タオルの共用、ドリンクの回し飲みは感染原因につながります。ご注意ください。  
また、ごみは必ず持ち帰ってください。

## 【2】 熱中症対策

近年、熱中症が多発しています。今夏は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に伴うマスク着用も、多発の誘因として考えられます。

大会期間中は、各会場においてWBGT(暑さ指数)を定期的に測定し、安全管理に努めますが、参加チームにおかれましても、試合間の移動等において水分や塩分補給、休憩等を積極的に実施し、熱中症の予防に努めてください。

各チームは、次ページの予防対策や応急措置に関して十分に理解し、選手やチーム関係者の健康管理に努めてください。試合会場内にて、熱中症の兆候が見られたら、速やかに救護本部にご連絡ください。

また大会会場を離れた後に、以下の事態が発生した場合は速やかに下記に連絡してください。

- 選手およびチーム関係者に「熱中症」の症状が認められた場合
- 選手およびチーム関係者が医療機関から「熱中症」と診断された場合

連絡先 全国大会実行委員会 危機管理委員会委員長 阿部 誠

090-5005-9800

なお参考資料として、次ページに「予防のポイント」と「応急処置」を掲載します。

# 予防のポイント

移動している時	応援・観戦している時
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 涼しい服・ゆったりした服を着る</li> <li>● 帽子をかぶる</li> <li>● 日陰を選んで歩く</li> <li>● 水分・塩分をこまめにとる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定期的に水分・塩分をとる</li> <li>● 通気性・吸湿性・速乾性のよい衣服を着る</li> <li>● 保冷剤・氷・冷たいタオルを携帯する</li> </ul>

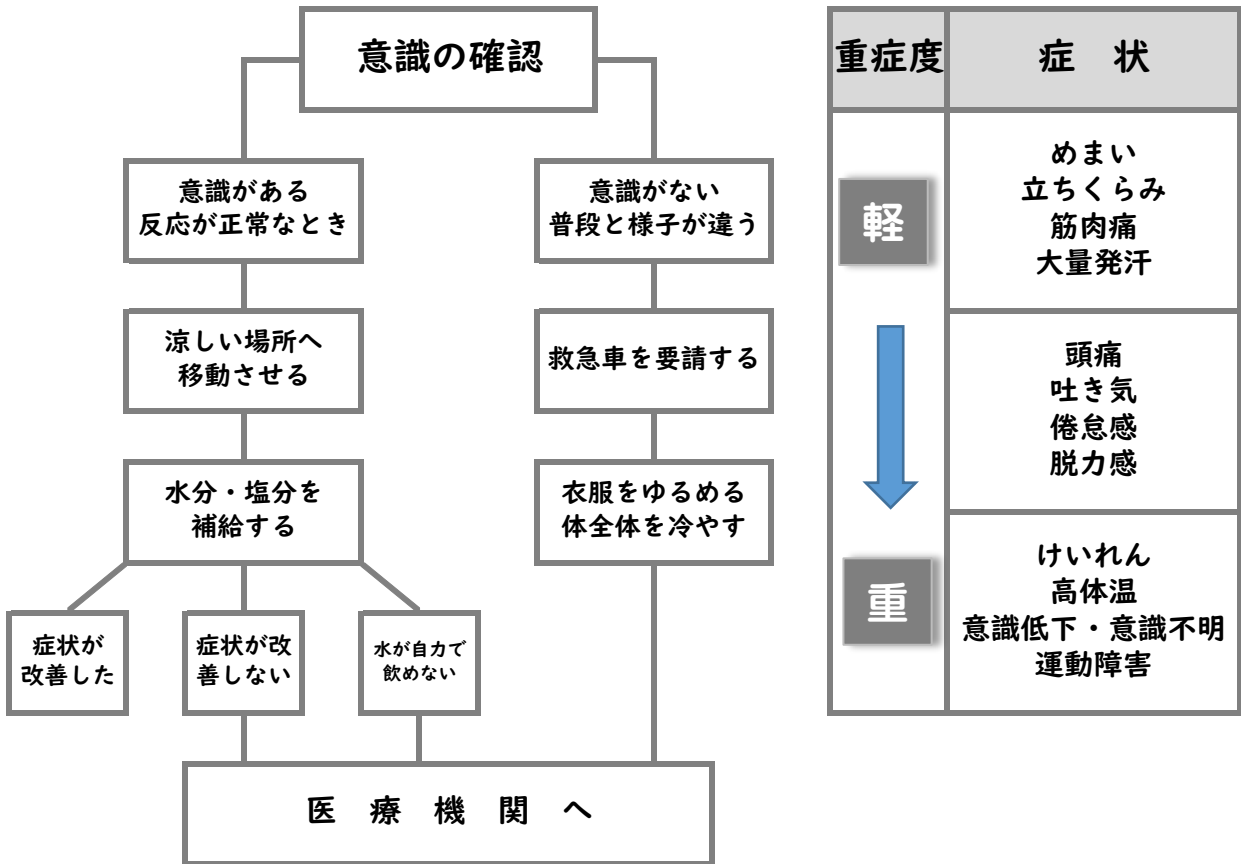
**子供達は** 自分自身で体調を管理し、具合が悪くなったら無理をしない。

**指導者は** 子供達の体調を注視し変化を見逃さない。定期的な水分・塩分補給を促す。

## 体感温度の個人差

暑さの感じ方は人によって全く異なります。さらに、小学生は体温調整能力がまだ十分に発達していません。暑さを感じなくても、室温や外気温を測定し、エアコンやうちわ等を使用したり、通気や換気を積極的に行ったりして、温度調節するよう心がけましょう。また、子供達がのどが渇いていなくても、こまめに水分・塩分補給させましょう。

# 応急処置



### 【3】 火災・地震・竜巻・雷・台風 対策

大会本部が、館内放送等で会場になっている体育館の避難経路に従って、安全に誘導します。チームの指導者は、館内放送や大会競技役員の指示等に応じて、チームの選手に安心感を与えながら落ち着いて誘導してください。また応援の皆さんは、館内放送や大会競技役員の指示等に従って避難してください。

安全な場所に避難したら、チームの指導者等は人数の確認をしてください。

試合再開については、会場役員の指示に従ってください。

### 【4】 その他の危機に対して

危機の種類	対策内容
不審者侵入 不審物	■ 不審者や不審物を発見したら、近くの役員に速やかにお伝えください。その際、チームの選手や保護者等に不必要な動揺を与えないように、慎重な行動をとるように心がけてください。
盗 撮	■ 例年、盗撮の被害が多数報告されています。警察官に身柄を確保されるような悪質なケースもあります。チーム関係者以外が、動画・静止面の撮影をしていたり、カメラを持って不審な動きをしている人がいたら、近くの大会役員等に報告してください。また、盗撮防止のために、観客席等での選手の着替えは控えてください。
盗 電	■ 大会会場として使用している各体育館の壁などにある電源用コンセントは、原則使用禁止です。大会中に電源用コンセントを使用した場合は、大会主催者が使用料を支払います。近年、コンセントを覆っているカバーを破壊してまでコンセントにコードを差し込む悪質なケースが発生しています。この行為は盗電と言う犯罪行為になります。この行為により、今後被害を受けた体育館が大会会場として使用できなくなります。
SNS上の無断配信	■ SNS上に動画等をアップしたことによる人権侵害を防止するために軽率な行為は控えてください。 今大会はチーム代表者一人による撮影を認めています。